

おひさま

秋号

生活協同組合・さいたま高齢協
〒359-1103 所沢市向陽町 2001-3
Tel : 04-2941-2111
fax : 04-2941-2099
<https://saitamakoureikyou.com/>

台風10号が残した教訓と未来への課題

台風10号は、日本列島を襲った自然災害の中でも特に強烈な印象を残した。

毎年のように日本を襲う台風の中でも、その規模や影響が特に大きかった。強風と豪雨を伴い、長時間、広範囲にわたって被害をもたらした。

ず、遠隔地での豪雨被害が予想を超えて発生した。防災意識の向上や避難の徹底が叫ばれる中で、自治体や住民がどのように備え行動するかが、被害の大小を左右する重要な要素となっている。

慣化することが、将来の被害を減少させるための鍵となる。さらに、地球温暖化の影響が台風の強度を増しているとの指摘もあり、環境問題への取り組みが急務である。温室効果ガスの削減や再生可能エネルギーの利用促進は、長期的には台風の発生頻度や強度を抑制する可能性がある。つまり、台風10号がもたらした教訓は、単なる防災対策にとどまらず、私たちの生活全般を見直すきっかけとなるべきものだと思う。独居で暮らす高齢者の方々には、特に日頃からの安否確認は勿論、様々に相談できる地域のつながりを持つことが重要である。さいたま高齢協もその一つである。

影響は、都市部から農村部まで広範囲に及び、交通機関の停止や停電、土砂災害、河川の氾濫といった問題が次々と発生した。自然災害の恐ろしさは、事前の予測や対策が必ずしも被害の軽減に結びつかないことにある。台風の進路や規模は、気象衛星やコンピュータモデルによってかなりの精度で予測されるようになったが、それでも実際の被害を完全に防ぐことは難しい。台風10号では進路が直前まで定まら

台風10号の経験から学べることは多い。その一つは、インフラの強化の必要性である。停電や断水が長引くと、生活の基本が脅かされるだけでなく、復旧作業にも大きな支障をきたす。したがって、電力網の強化や、河川の堤防の再設計など、インフラの耐久性を高めるための取り組みが求められている。また、個人レベルでの防災意識の向上も重要である。台風の接近時には、早めの避難や必要物資の確保、情報収集が不可欠であり、これらを習

■能登半島地震への支援の報告

今年1月の能登半島地震に対して、さいたま高齢協では以下の支援をいたしました。

- ①組合員・役職員に義援金を呼びかけ、25名から93,300円が寄せられました。最も被害の大きかった石川県(庁)に送金いたしました。県から被災者へ義援金は送られません。ご協力ありがとうございました。どうぞございました。
- ②さいたま高齢協として、支援募金10万円を日本労働者協同組合連合会を通じて被災者支援活動を行う団体に送られました。

■■■■ 私たち一緒に働きませんか！ ■■■■

- まあち 〒359-1103 所沢市向陽町 2001-3
訪問介護 04-2941-2755
ケアプラン 04-2941-2080
- ふれあい岩槻 〒339-0057 さいたま市
訪問介護 岩槻区本町 1-5-33
048-749-5773

私たちは「仕事」「福祉」「生きがい」活動に取り組む高齢社会を支え合うために生まれた生活協同組合です。年齢に関係なく、気軽にどなたでも協同組合に入れます。老若男女が支え合う「福祉のまちづくり」をあなたも一緒に！
ご加入には①所定の申込書②出資金(一口千円から)が必要です。お申込み・お問い合わせ 04(2941)2111

理事長 坂林哲雄

第19回総代会の報告 支え合い安心して暮らせるまちづくり

去る6月23日(日)に第19回通常総代会が新所沢公民館にて開催されました。

総代会に先立ち、記念講演会が9時30分〜10時30分まで行われました。講師は、鏡諭先生(さいたま高齢協前理事長・現法政大学大学院公共政策研究科兼任講師)で「介護保険法の改正について」をテーマに2024年度の改正内容についてお話いただきました。

通常総代会は、10時45分より12時30分まで以下のように開催されました。

【成立状況】総代85人の内、過半数の合計78人(本人出席14人、書面出席64人)の出席で成立しました。

【質疑・意見への回答】

①社会保険予算が削られている現在、高齢者パワーで社会にアピールを。例えば、映画「PLAN75」の上映会を。

(回答)ぜひ検討し取り組んでいきたい。

議案	反対	保留	賛成	合計
第1号議案 2023年度活動のまとめ	0	0	72	72
第2号議案 2023年度決算と剰余金処分	0	0	72	72
第3号議案 2024年度活動計画と予算	0	0	72	72
第4号議案 役員の選任について	0	0	72	72
第5号議案 2024年度 役員報酬の件	0	0	71	71
第6号議案 定款の一部変更について	0	0	72	72
第7号議案 議案決議効力発生の件	0	0	72	72

②通常総代会議案書及び決算報告書はよく整理されていた。しっかりした実務に感謝です。

(回答)ご意見ありがとうございます。

③人材不足問題について3名から

意見があった。

(回答)さいたま高齢協の訪問ヘルパーの給与は平均以上となっている。常勤者からヘルパーへのサポートや風通しのよい職場づくりに取り組んでいるが、地域にアピールできていない。組合員や利用者から口コミで広がるようにしていきたい。

④組合員が減少している状況で組合員活動や地域活動への期待の意見があった。

(回答)三郷と北本で組合員活動が始まり、所沢、岩槻含めて4カ所になった。今後広げていきたい。

⑤働いている人の意見をしっかり聞いて運営して欲しい。異端の意見も聞くことが重要。

(回答)毎月の職員会議があるが、さらに一人一人の意見をしっかり聞くようにしたい。

⑥さいたま市には135人も組合員がいるが、組合員であることを忘れている。一人暮らしの方の要望なども把握する組合員活動など取り組んで欲しい。

困っている人をどうサポートするのか見えてこない。

(回答)この数年間は、コロナ禍で経営課題が優先されて組合員活動まで充分できていなかった。今後は、いただいた意見に伝えられるように取り組みをしたい。

【役員改選】

役員には、理事9名、監事2名が選任されました。総代会後に開催された第1回理事会で、以下の体制となりました。

理事

坂林哲雄 理事長

亀井隆 副理事長、専務理事兼任

増田アツミ 所沢市在住

松本和子 ヘルパーステーション
まあち管理者

大畑真理 ふれあい岩槻管理者

島野正紀 北本市在住

須賀貴子 労協センター事業団

足立圭子 所沢市在住

丹 敬二 所沢市在住

監事

茂木紀晃 蕨市在住

鈴木義広 都内在住

■記念講演「2024年度介護保険制度改定と自治体の対応」

〈講演要旨〉2024年度介護保険制度見直しでは、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年を迎えることから、負担増と給付減の7つの論点で議論された。

保険料の徴収やサービス給付年齢の引き下げ、ケアプランの有料化、要介護1・2における総合事業への移行については見送られたが、一定以上所得者の2割、3割負担の対象範囲の拡大、介護報酬(介護職員の処遇改善等)の引き上げ、訪問介護の基本報酬の切り下げなどが実施された。

第9期介護保険事業計画の基本指針では、①介護サービス基盤の計画的な整備(在宅サービスの充実等)、②地域包括ケアシステムの深化・推進(総合事業の充実、認知症の理解推進等)、③介護人材確保と介護現場の生産性向上(介護職員の処遇改善、介護経営の協働化・大規模化等)が打ち出されている。

介護保険制度の今後は、①事業所の統合、複業種化、大規模化が進む、②

小規模の事業所は淘汰、③介護保険の対象者限定、④地域での事業所維持が課題、⑤介護職員70万人不足、⑥中所得者は有料老人ホームかサービス付高齢者住宅、⑦特養にはなかなか入れない等と指摘された。

(記録者の感想)

さいたま高齢協は、こうした情勢を踏まえ、高齢者を組合員に持ち、高齢者と最も身近なところで介護保険事業を行う協同組合として今後どのような政策と方針で挑むかしっかりと議論を行っていく必要がある。

★新理事紹介

○ 足立圭子さん

伊豆の義父が入院先で亡くなり、ショートステイの母は太いベルトで寝たまま、葬儀の翌日、これではと所沢に。助けてくれたのが「まあち」でした。90才の母はハイハイがやっとでしたが「まあち」で伝え歩きができるように。

実母は100才近くから「まあち」のデイサービスと訪問介護、105才で亡くなる前日までお世話に。



私は武蔵野の平地林を守り育てるボランティア活動「おおたかの森トラスト」を始めて30年、「まあち」と出会ったことで続けることができました。「まあち」の素晴らしさをより多くの人に伝えたく、理事を受けました。

○ 丹 敬二さん

新任理事の丹敬二と申します。出身地は茨城県笠間市で、所沢市に居住して32年になります。(現住所:南住吉のマンション)



2018年まで、日本生協連に勤務しており主に食品の品質保証業務に従事していました。(その間一時期亀井専務と同じ部署に所属したことがあります。今回お声かけいただいたものと思います。)

自分のような普通のシニアの生活に役立つことができる組織に出来ればなと思っています。趣味は古代史(博物館巡り)、街歩き、日本酒等。

■映画上映会のお知らせ■

「わたしのかあさん・天使の詩」

- 12月1日(日) 13:45～
- 所沢市民文化センターミュージズ
- 前売 1,300円/当日 1,800円

前売券:さいたま高齢協で取り扱い有

山田火砂子監督の舞台挨拶予定
共生社会が求められる中、障がい者の課題をテーマとした話題の映画。多くの市民に観ていただきたいと思ひます。



■所沢地域 まあちサロン



所沢地域福祉事業所まあちでは、8年ほど前より月2回(第2、4木曜日)13時30分より約2時間「まあちサロン」を開催しています。ケアマネジャーでもある増田アツミ理事が中心となり運営されています。通常は特にテーマを決めず、自由に話合い(おしゃべりし)自然に話が盛り上がるそうです。

8月8日(木)のまあちサロンでは、増田さんが持参した「第35回所沢平和のための戦争展」(8月24日〜26日、市民文化センター・ミューズ)のチラシが配られ、戦前、戦後の所沢の歴史が語られています。戦前には所沢に軍の飛行場があり軍人が多く集まり、花街などもあったとか、戦後にはアメリカ軍に接

取され、米軍のハウスがあったとか、昔の話が次々と飛び出していました。

■三郷地域で講演会を開催



三郷地域では、地域の団体・個人でボランティア組織「楽しいシニアライフをめざす早稲田連絡会」を2年前に結成し活動を進めています。さいたま高齢協が事務局を担当しています。

8月4日(日)に三郷市文化会館で、「老後へのオリエンテーションⅣ」の講演会を開催しました。猛暑の中、56名の参加がありました。講演1では「はじめての老いじたく」をテーマに三郷市社協の篠田明子氏に講演していただきました。身の回りの整理、亡くなったあとのこと、これからの人生など元気なうちに備えることが必要との

話に参加者は共感していました。

講演Ⅱでは「人形づくりに惹かれた私の人生・出会い」と題して、元気なシニアライフを送る地元にお住まいの伊原恵美子さんからお話いただきました。

伊原さんのお話は面白かった、元気ももらったと大好評でした。会より「感謝状」が贈呈されました。

■小林さん家(ち)サロン

空き家を活用し2024年1月から開始した「小林さん家(ち)サロン」は、月2回(第2、4金曜日)に開催しています。



7月26日(金)のサロンでは、地域包括支援センター早稲田より講師をお願いし、「わかりやすい認知症の話」をしていただきました。小人数のため気軽に質問でき好評でした。

■北本地域・名人達人サミット

第6回全国各地域起こし名人・達人サミットが桶川市・北本市で開催されることから、北本支部も参加しています。5月にプレ企画として街づくり映画祭が取り組まれました。



6月には、沢田研二主演の水上勉さんをモデルにした「土を喰らう12カ月」(良い映画を見る会主催)に高齢協も協働団体として参加しました。540人の参加で好評でした。7月19日は埼玉労協の主催の「認知症サポーター講座」に5人が参加しました。また、組合員の家の除草作業を行い、2万3千円の作業賃を頂きました。今後草取りの好きな女性中心に作業班を作り、除草作業をやるということになりました。